

福祉情報

西区社協だより

ふれあい

第147号

お問い合わせ先 広島市西区社会福祉協議会(社会福祉法人 広島市社会福祉協議会西区事務所) TEL 082-294-0104



持続可能な地域コミュニティの実現に向けて ～大芝地区のまちづくりを取材～

今回は、西区社会福祉協議会の広報委員有志の方々と一緒に、現在西区大芝地区において「ひろしまLMO」に中心となって取り組まれている大芝地区社会福祉協議会(以下、大芝地区社協)に取材に行ってきました。これからの大芝地区のまちづくりについて役員の方々にお話をお聞きしました。



上段左から片岡広報委員、吉川広報委員、大芝地区社協米崎会長、大芝地区社協雲津副会長
下段左から西区社協職員山岡、LMO大芝事務局員新田さん、LMO大芝事務局員安部さん



米崎会長

私が初めて町内会長になった時は、社協って聞いてもどのような団体なのか分かりませんでした。やはり一般の人や地域の企業からするとまだ何も知らない人が多いと思います。まず地区社協がどのような団体なのか、どんなことをしているのか知ってもらうための取組みが重要と考えています！

広報委員が行く!!!

01 今の大芝地区社協の取り組みについて

吉川広報委員: 大芝地区が、「ひろしまLMO」に取り組もうと考えた経緯を教えてください。また、「ひろしまLMO」に取り組んでよかったことを教えてください。

米崎会長: 自分たちが活動をするうえで、地域の方が立ち寄りやすい拠点を持ちたいと以前から考えていました。元々、大芝地区社協では、地域の集会所の二階を事務所としていましたが、地域住民が来所しにくいことや狭く活用しにくかったため、「ひろしまLMO」に手を挙げることで地域に開かれた拠点を持つことができると考え、取り組むことを決めました。

この広報誌は、(財)多山報恩会の助成金および共同募金配分金により作成しました。

広報委員が行く!!!

01 今の大芝地区社協の取り組みについて



吉川広報委員: 拠点を持つことで利用者や来所者は増えましたか？

雲津副会長: 令和5年8月10日に拠点をオープンして、少しずつ地域に浸透しているように思います。11月からは、「ほっこり広場」という小さな子どもを連れた皆さんと、子どもたちがゆったりできる子育てオープンスペースを始めました。地域のサロンや地域団体が拠点を利用するのは無料ですので、もっとこの拠点があることを地域の人たちに知ってもらいたいです。そのために、地域住民から声のあった、イベントのチラシや書類をパソコンで作成するお手伝いをすることや、コピーサービス等も行っています。

吉川広報委員: まずはやっぱり、知ってもらうということがとても大切ですね。



「ひろしまLMO」とは

地域内の各種団体(図参照)が連携して、さまざまな地域課題の解決に取り組む「新たな協働体制」であると広島市が認定した組織のことで、広島市は、持続可能な地域コミュニティの実現に向け、「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」に基づき、「ひろしまLMO」の設立・運営支援を行っています。



吉川広報委員: LMO大芝の拠点は、いつ開いていますか？

米崎会長: 月～土曜日の10:00から12:00までは開いており、事務局員が必ず常駐しています。上記以外の時間にも不定期ですが事務局員がいます。

吉川広報委員: 平日に、この拠点に来ると事務局員さん達がいるということは、地域住民からするとありがたいことですね。これからは、地域の方がどんどん利用して、地域の賑わいの拠点になりそうですね。今後、発展させたい取り組みがありますか？

米崎会長: 福祉＝高齢者というイメージが、まだ世の中にあるかと思っています。地域・行政ともに「子育て世代」への支援が少ないと感じたため、事務局員に保育士さんを配置し、子育てオープンスペースに子育て世代の方が来て安心して過ごせる体制を整えました。この拠点で、若い人同士もつながりを作ることができ、多世代が住みやすい大芝地区にしたいと考えています。

02 これからの大芝地区社協の取り組みについて

米崎会長: 今年はじめの能登半島の地震から今、一番考えているのは、大芝地区に災害が起きた時のことです。いずれ南海トラフ地震が起きることが想定され、被害が広域的だと言われています。その時に「公助」に頼りきるのではなく、地区社協も頼りになる存在でありたいと考えています。「ひろしまLMO」を始めて、小学校や消防団等と連携していますが、その力を結集して、もしもの時を乗り切らなければならないと考えています。そのために地区社協を知ってもらい、信用・信頼してもらう土壌を作っていきたくです。



片岡広報委員: 次世代の地区社協の役員を育てていくことについては、いかがですか？

米崎会長: 幸いなことに大芝地区社協の役員には、40代50代の方がおり、その人たちが、大芝のこれからを担ってくれると考えています。会長である私がある程度の路線を引いておくことができれば、大丈夫だと感じています。

西区社協: 地域の課題解決で取り組みたいことはありますか？

米崎会長: 子ども会の会員が減少傾向にあるなか、地区社協として子ども会に加入していない世帯も対象に、イベントや行事をしていきたいと考えています。これまで子ども会が中心で行ってきた花火大会を、社協も一緒になって盛り上げていきたいと思っています。また、地域には、色々な企業があり、協力をいただいているので、このつながりを今後も継続し、一緒になって地域づくりをしたいとも思っています。

大芝地区社会福祉協議会LINE公式アカウント



ID:@884gctuj
LINEの「友だち追加」から、ID検索するか左のQRコードを読み込んでください。

大芝地区社会福祉協議会事務所 LMO大芝

〒733-0007
広島県広島市西区大宮1-4-8 フェリーチェ-MT1階
事務局員常駐時間:月～土の10:00～12:00
TEL:082-554-1870 FAX:082-554-1871
e-mail:info@ooshibachiku-shakyo.jp



西区ボランティアセンター通信

新しくボランティアコーディネーターが配属になりました!!

はじめまして。令和5年10月より西区社協にてボランティアコーディネーターをさせていただきます。安藤由佳梨です。

初めてのことで、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、皆様のお力になれるよう、いろいろなことを教わりながら、頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



安藤ボランティアコーディネーター

ボランティアコーディネーターとは

「ボランティア活動をしたい人」と「ボランティアに支援してほしい人」とを結ぶパイプ役・調整役です。

01 ボランティアってなに?

ボランティアは特別な人が特別な場所で行う「特別な活動」ではありません。自分の趣味や特技、知識を生かして、いつでもどこでも、自分にできることを自分のできる範囲で無理なく行うことが、ボランティアです。

02 どんなボランティアがあるの?

- ボランティア活動の例
- 障がい者支援 (例: 手話、点字など)
- 当事者団体等の活動支援 (例: 家族会など)
- 災害ボランティア
- 地域での活動 (例: 地域のちょっとした困りごと支援)

ガイドブック2ページに詳しい内容があります!

ガイドブック7,8ページに詳しい内容があります!



ボランティアガイドブック (広島市社協ホームページから)

03 ボランティアセンターってなに?

ボランティアをしてほしい人や、ボランティアをしたい人の相談を聞き繋げることや、講座を開催してボランティア活動を広めていくこと、ボランティア活動がしやすいようお手伝いすることが主な役割です。

また、プラットフォームとして情報を集める役割もあるので、「近所で〇〇のボランティア活動をしているよ」などボランティアに関することを、お気軽にご連絡ください!



04 ボランティアに関心があるけど、何をすればいいかわからない...

まずは、ボランティアセンターにご相談ください。活動内容、日時、場所などをお聞きして、ご希望に合ったボランティア活動の紹介を行います。

右記QRコードから、西区ボランティアセンターに登録されているボランティアグループの一覧を見ることができるので、参考にしてください。



西区ボランティアグループ・サークル一覧表 (西区社協ホームページから)

西区ボランティアグループ連絡会・西区ボランティアセンター利用者連絡会について



西区ボランティアグループ連絡会・西区ボランティアセンター利用者連絡会(以降、ボラ連・利用連とする)では、西区区内で活動している登録グループが、定例活動の情報交換をしたり、福祉まつりの運営を行っています。仲間と共に活動できる幸せを感じられる喜びが、ここにはあります。

- 3月は「ボランティア月間」として、西区ボラ連・利用連が新しくボランティアを始める方を応援します! 春に向けてボランティア活動を始めてみませんか?

西区社協(西区ボランティアセンター)には「ボランティアをしたい」という相談をいただくことがあります。今回はどのような調整をしているか事例を紹介します!

Q. ボランティア活動をしたいと思ったきっかけは?

A. 仕事で聴覚障がいの人と接する機会があり、手話に関心を持つようになりました。育児休業(以降、育休とする)で時間ができたので、思い切ってやってみようと思いました。



活動希望者 Aさん

Q. 西区ボランティアセンターに相談をしてどうでしたか?

A. まずは、手話のボランティアグループの活動に参加してみることを勧められました。小さい子どもがいることや、初心者でも大丈夫なのかが不安でしたが、ボランティアコーディネーターがグループと調整してくださり、安心して参加することができました。

Q. 実際にグループの活動に参加した感想を教えてください。

A. 子どもと一緒に参加でしたが、グループの皆さんが優しく受け入れてくださり嬉しかったです。育休明けは生活リズムが変わりますが、手話の学習を継続したいと思っています。

Q. どのようにボランティア活動希望者を受け入れていらっしゃいますか?

A. 年に1回入門講座を開催したり、仕事や家庭の状況に合わせて柔軟に活動参加ができるよう対応したりすることで、新しく入る方が安心してできるように心がけています。今年度は、新しく10人以上の方に加入していただきました。手話ボランティアに関心のある方は、お気軽に見学・参加をご相談ください。



手話サークル 麦さん



ヤングボランティアスクール×障害児者交流事業「もちつき交流会」開催!!



令和6年2月10日(土)、南観音学区にあるおりづる作業所と夢トピアにて、障害児者交流事業の「もちつき交流会」を行いました。コロナウイルス感染症の影響を受け中断していたため、4年ぶりの開催です。

今回の『もちつき交流会』には、若い世代を対象に障害者理解を深めてもらうとともに、ボランティア活動に参加するきっかけとしてもらうことを目的に開講した「ヤングボランティアスクール」の受講生のみなさんにも、活動していただきました。「もちつき交流会」で活動するにあたり、令和6年2月3日(土)の事前学習では、「広島県手をつなぐ育成会 ひろしま♡あび♡隊」による知的・発達障害疑似体験等で学びました。

「もちつき交流会」当日は、障害のある人とその家族、地域住民やボランティア等が同じ場を共有し、世代を超えた様々な人々が集う交流の場となりました。



※西区社協HP(QRコード)にも活動報告を掲載しています!!



己斐東学区
社会福祉
協議会

防災を一緒に考える「つながり」活動講座

広島市生活支援体制整備事業 担い手養成講座

区社協ホーム
ページもチェック!



令和5年1月、己斐東学区内で日頃元気に地域のお世話をされていた方が自宅で倒れ、4日経ってから発見、入院されるという事態が起きました。このことを重く受け止められた己斐東学区社会福祉協議会(以下、己斐東学区社協)会長が「見守り活動を強化したい」との思いを吐露されました。

その思いを聞いた区社協は己斐・己斐上地域包括支援センター(以下、己斐包括)と同年2月に情報を共有し、令和5年度に己斐東学区社協へ、見守り活動理解のための「つながり活動講座の実施」を提案することにしました。

その結果、学区社協、包括、区社協で計画を練り、他の関係機関の協力も得て、「つながり」や「防災」をキーワードとした3回連続講座として、開催できました。

①
9月23日
(土・祝)
参加者19名

「防災」から見た「つながり」づくり

講師:ローカリズム・ラボ 井岡仁志氏

「防災は日頃からのつながりが一番大切」というテーマで講座を開催。講師の「助けてと言えない人がいる。地域の受援力を高めることも大切」という言葉が印象的でした。アンケートでも「予防的な取り組みとして、つながりづくりが必要」といった前向きな感想があり、日頃の関係性を大切にすることの重要性を学びました。

▼日頃のつながりの大切さを学びました



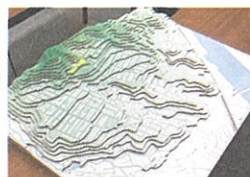
▲講師の井岡氏

②
10月25日
(水)
参加者33名

防災ジオラマを一緒に作ってみよう!

講師:(一社)防災ジオラマ推進ネットワーク 上島洋氏

小学生の子ども達と一緒に楽しみながら、己斐東学区のジオラマを作り、己斐東学区の地形、地理の特徴について学びました。講師から、生活エリアの中にある災害時の危険について説明をしてもらいました。アンケートでは「『ぼんやり』としか知らなかったことが、『はっきり』と知識、記憶として残った」という感想がありました。また、この企画は、地域団体連携支援基金事業費助成を活用して実施されました。



◀世界に一つだけの己斐東段ボールジオラマ!



▲皆で記念撮影!



▲危険な場所はどこかな?

③
11月25日
(土)
参加者16名

見守りネット己斐東の見守り登録者・協力員と共に交流しよう!

講師:己斐包括職員

いきいき百歳体操と一緒に体験したあと、交流会を開催!心もほぐれ、活発な意見交換がなされました。「集まりに来ていた人がなくなると心配だよね」「ジョギングがてら、見守りをしているよ!」そんな優しいお気持ちを、たくさん聞かせていただきました。

▼見守りネット己斐東交流会の様子



▲己斐東の未来を語るセッションも実施!

己斐東学区社協
宮原地域福祉推進委員

何度も打ち合わせを行なって開催し、「講座ってこういう風にやるんだな」と感じました。包括や区社協と一緒に取り組むことで、心強かったし、とても楽しかったです。

己斐包括
尾関社会福祉士

令和5年7月から9月にかけて、地域福祉推進委員、包括、区社協職員で己斐東学区サロン/台帳登録全サロン訪問をし、「地域は本当に様々な人がつながっている」ことを再認識しました。

己斐東学区社協
牧野会長

令和5年度の講座は今回で終わりますが、令和6年度は「防災」だけでなく、「地域と一緒に考えるつながり活動講座」と名称を変えて、みんながつながれるように、あたたかいまちづくりをしていきたいと思っています。

連続講座開催にあたり、ご協力いただきました関係機関、各種団体の皆さまに厚くお礼申し上げます。
令和6年度に向けて、現在計画中ですので、また楽しくご参加ください!

お財布から コロコロコロッと 愛がうまれます!!

みなさまのあたたかいお気持ちは、西区内の地域福祉活動を推進する貴重な財源として有効に使わせていただきます。

ご加入ありがとうございました

《賛助会員・特別賛助会員 加入者ご芳名》

* 順不同(令和5年8月16日~令和5年12月31日)

<賛助会員>

宮本 宣彰	打越 勲	桂川寿和子	米崎 一郎	田中 正男	菅原 博	中村 英子	秦 孝成
岡本 和三	宮田 隆	杉原 誠	平松 亘	牧野 道夫	中野 玲子	坂井 進	今村 裕子
森脇 保正	増原 悦治	小原 博文	平野千代子	橋川 徹	山木 路子	小松孔二郎	竹本トシコ
國武訓扶衛	定丸 達彦	桑野 栄子	湯川 暢宏	山下 雅子	桑原 量	河村 正志	荒谷 律子
田口 隆	匿名17名						

<特別賛助会員>

古田学区社会福祉協議会 井口地区社会福祉協議会 庚午地区社会福祉協議会 西区母子寡婦福祉会 天満地区社会福祉協議会 西区心身障害児者父母の会 南観音女性会
 己斐地区民生委員児童委員協議会 天満地区民生委員児童委員協議会 ひかり保育園 草津地区民生委員児童委員協議会 社会福祉法人おひる 榊井口不動産 榊合同総研
 己斐学区社会福祉協議会 井口台地区社会福祉協議会 観音地区民生委員児童委員協議会 南観音学区社会福祉協議会 西区地域女性団体連合会 庚午中三丁目町内会
 福島地区民生委員児童委員協議会 己斐東学区社会福祉協議会 大芝地区民生委員児童委員協議会 己斐上学区社会福祉協議会 広島市手をつなぐ育成会 三篠地区民生委員児童委員協議会
 高須地区民生委員児童委員協議会 己斐上地区民生委員児童委員協議会 大芝地区社会福祉協議会 医療法人光臨会荒木脳神経外科病院 株式会社マリモ 高須学区社会福祉協議会
 社会福祉法人くすの木の会 井口台地区民生委員児童委員協議会 庚午中四丁目町内会 庚午地区民生委員児童委員協議会 庚午PTA諸費の会

<令和5年6・7月大雨災害義援金>

己斐学区社会福祉協議会 草津・庚午南地区社会福祉協議会 己斐上学区社会福祉協議会 庚午地区社会福祉協議会 観音学区社会福祉協議会
 井口台地区社会福祉協議会 山田地区社会福祉協議会 井口明神学区社会福祉協議会

ご加入いただくには ※何口でもご加入いただけます

賛助会員 : 一口=2,000円 個人対象

特別賛助会員 : 一口=5,000円 企業・団体など対象

郵便振替口座 **01350-9-16537**

社会福祉法人 広島市社会福祉協議会

(振込手数料不要の払込取扱票がありますので、本会にお問合せください)

ご寄付ありがとうございました

《寄付者・寄付団体ご芳名》* 順不同(令和5年8月16日~同12月31日)

一般寄付 イーイング・コーポレーション株式会社
 代表取締役 平岡 栄作 打越 勲
 岩元 英雄 和の会 匿名2名

物品寄付 匿名2名

※営利法人の場合は、法人税法第37条による額が損金算入されます。個人の場合は、所得税法第78条により寄付金控除が受けられます。

地域情報をホームページに掲載しています!

地区社会福祉協議会が発行している広報紙を、西区社会福祉協議会ホームページに掲載しています。

アクセスはこちらから▼



受付中 弁護士無料法律相談

日時: 令和6年3月19日(火) 13:00~16:00

場所: 西区地域福祉センター

内容: 弁護士による法律相談
 親子関係、多重債務、破産、過払い金取り戻し、土地のトラブル、離婚、相続、少年事件等

定員: 6人(1人30分)

※事前予約必要 ※先着順 ※西区居住の方優先

申し込み

広島市西区社会福祉協議会
 TEL.082-294-0104
 FAX.082-291-7096

赤い羽根共同募金~じぶんの町を良くするしくみ~

赤い羽根共同募金にご協力いただき、ありがとうございます。

広島市域の赤い羽根共同募金は、主に皆さまのお住まいの地域で福祉活動を担っている、地(学)区社会福祉協議会の新・福祉のまちづくり総合推進事業や、災害時の被災された方への支援活動等に活かされています。



編集・発行

広島市西区社会福祉協議会
 (社会福祉法人 広島市社会福祉協議会西区事務所) / 広報委員会
 〒733-8535 広島市西区福島町二丁目24番1号
 西区地域福祉センター4階

TEL 082-294-0104

FAX 082-291-7096

E-mail : nishi@shakyohiroshima-city.or.jp

ホームページ : <http://www.shakyo-hiroshima.jp/nishi>

西区社協・西区ボランティアセンターはここです

